

各位

2022.7.05

愛知中小企業家同友会
報道部長 林 康雄
労務労働委員長 古田 伸祐

「2022年夏の賞与アンケート」(661社回答) 結果のご案内

いつもお世話になります。

愛知中小企業家同友会では中小企業の夏の賞与に関するアンケートを行いました。企業ですぐに活用できるよう、業種と正社員数でクロス集計(平均賞与支給額、平均賞与月数)した集計もあります。ご参照頂ければ幸いです。

※お問い合わせ等は事務局までご連絡ください。

- テーマ：「2022 夏の賞与アンケート」
- 主 催：愛知中小企業家同友会
- 期 間：6月17日(金)～6月26日(日)
- 回答数：661社(建設：126社、製造：165社、
流通・商業：160社、サービス：210社)

☆平均賞与

◎全体	343,163 円 (+17,102 円)
◎建設業	342,631 円 (+31,861 円)
◎製造業	321,828 円 (+9,900 円)
◎流通・商業	370,245 円 (+18,194 円)
◎サービス業	344,982 円 (+12,519 円)

※上記は、賞与を支給する(支給した)と回答し、
平均支給額を記入した企業のみ平均賞与額。

【参考】平均支給額

(「支給しない」回答者含)

◎全体	290,191 円
◎建設業	279,955 円
◎製造業	299,375 円
◎流通・商業	291,609 円
◎サービス業	286,116 円

☆特徴

◎今年の夏の平均賞与額は、前年同時期と比較して17,102円増額した。業種別で見ると、建設業、製造業、流通・商業、サービス業の全業種で平均賞与額が上昇。増額幅を見ると、建設業の31,861円が最大幅の増額となり、一方で製造業の9,900円が最小幅の増額となった。

◎前年の夏の賞与アンケートで「賞与を支給する(支給した)」と回答した企業の割合が75.7%だったのに対し、今年は81.6%と5.9ポイント増加。また、「賞与を支給する(支給した)」と回答した企業の割合を業種別に見ると、建設業は76.4%、製造業は91.0%、流通・商業は76.3%、サービス業は80.2%となった。

◎業種問わず、企業の「正社員数」別に、前年同月期と比較して今年の「平均賞与額」の増減を見ると、「1～4人以下」は40,097円増額、「5～9人」は8,692円減額、「10～19人」は36,802円増額、「20～29人」は27,830円増額、「30～49人」は31,935円減額、「50～99人」は12,448円増額、「100人以上」は31,612円増額となった。正社員数「1～4人以下」の企業が最も平均賞与額を増やし、一方で、正社員数「5～9人」と「30～49人」の企業は平均賞与額を減らす結果となった。

◎賞与支給月数は、業種問わず、「1カ月～2カ月未満」が最も多い回答となった。

◎今年の夏の賞与支給において、最も多い金額帯を見ると、業種全体は「30～40万円未満」、建設業は「20～30万円未満」、製造業は「20～30万円未満」、流通・商業は「30～40万円未満」、サービス業は「20～30万円未満」となった。

【概要】

今回の調査で夏の賞与を「支給する（支給した）」と回答した企業は、前年同時期の調査から 5.9 ポイント増加して 81.6%となりました。業種別で見ますと、建設業は昨年比 0.6 ポイント増の 76.4%、製造業は昨年比 6.6 ポイント増の 91.0%、流通・商業は昨年比 1.5 ポイント増の 76.3%、サービス業は昨年比 11.3 ポイント増の 80.2%と、全業種で「支給する（支給した）」企業が増加しました。しかし実態は、資金的余裕から賞与支給が行われている訳ではなく、人材不足問題のために賞与支給にも取り組んだ中小企業が調査に多数回答したと言えます。中小企業は資金的にも人材的にも非常に厳しい状況が 2020 年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前から続いています。

今年の夏の平均賞与額は、前年同時期と比較して 17,102 円増加しました。業種別で見ますと、建設業は 31,861 円増加、製造業は 9,900 円増加、流通・商業は 18,194 円増加、サービス業は 12,519 円増加し、全業種で平均賞与額が増加しました。増額幅で見ますと、建設業が最大幅の増額となり、一方で製造業が最小幅の増額となっています。なお賞与支給月数は、業種問わず、「1 カ月～2 カ月未満」の回答が最も多く、その次に「1 か月未満」が多い回答となっています。

業種を問わず、企業の「正社員数」別に、前年同月期と比較して今年の「平均賞与額」の増減を見ますと、「1～4 人以下」は 40,097 円増額、「5～9 人」は 8,692 円減額、「10～19 人」は 36,802 円増額、「20～29 人」は 27,830 円増額、「30～49 人」は 31,935 円減額、「50～99 人」は 12,448 円増額、「100 人以上」は 31,612 円増額となりました。正社員数「1～4 人以下」の企業が最も平均賞与額を増やした一方で、正社員数「5～9 人」と「30～49 人」の企業は平均賞与額を減らす結果となりました。企業規模によって平均賞与額の増減にこれほどの差が出たということは無視することができません。

また、非正規社員に対する夏の賞与については、全体では「支給する（支給した）」の回答が 45.2%となりました。これは前年同月期の 46.5%と比較して 1.3 ポイント減少しました。また、業種別に前年同月期と今回の「支給する（支給した）」を比較しますと、建設業は 36.0%から 29.1%と 6.9 ポイント減少、製造業は 59.6%から 54.3%と 5.3 ポイント減少しました。同様に「支給しない」を見ますと、建設業は 30.7%から 32.9%と 2.2 ポイント増加、製造業は 20.5%から 27.1%と 6.6 ポイント増加しました。今回の調査で、夏の賞与を「支給する（支給した）」と回答した企業は前年同時期調査と比較して全業種ともに増加していますが、一方で、非正規社員に対する賞与支給の状況が悪化していることが分かりました。

記述回答では、「支給する（支給した）」と回答した企業のなかでも、「もっとたくさん賞与をあげたいが、物価上昇で余裕が無い」（サービス業）、「原料費高騰により賞与は減少しなければいけないが、社員の生活必需品の物価も高騰しているため、賞与も上げなければいけない」（製造業）など、社員の生活のために賞与支給に踏み切った経営者の声もありました。また、「支給しない」と回答した企業では、「新型コロナウイルス感染症による資金的余裕がない」（製造業）などの中小企業の悲痛な声が多数聞こえてきました。

今回の調査から、少子高齢化に伴う労働生産人口減少に瀕する日本経済社会のなかで、人材不足を防ぐために限られた資金のなかで賞与支給にも踏み切った中小企業と、そうしたくても資金的余裕が全くないといった中小企業に分かれたという実態が見て取れました。止まらない円安のなかで、いつまで原料費が高騰し続けるのかも予測がつかず、またその高騰分を価格転嫁できていないなかで、地域経済を支える中小企業の生き残りが厳しくなっています。

以上

2022年 夏の賞与アンケート調査項目

いつもお世話になります。

この度、中小企業の賞与支給状況を明らかにして、中小企業の実態や会員の皆様の今後の参考資料とするため、夏の賞与に関する調査を行います。ご協力下さい。

- 主催：報道部、労務労働委員会
- 期間：6月17日（金）～26日（日）
- 対象：全会員

Q 1、貴社に従業員（パート・アルバイトは除く）はいますか。 **※必須**

(1) いる→Q 2へ (2) いない→Q 5へ

Q 2、貴社の正社員数（経営者は除く）をお答え下さい。 **Q1-①** **※必須**

- (1) 1～4人 (2) 5～9人 (3) 10～19人 (4) 20～29人
(5) 30～49人 (6) 50～99人 (7) 100人以上

Q 3、貴社の正社員の平均年齢をお答え下さい。 **Q1-①** **※必須**

- (1) 29歳以下 (2) 30～39歳
(3) 40～49歳 (4) 50～59歳 (5) 60歳以上

Q 4、貴社のパート・アルバイトなど非正社員や派遣・請負社員の人数をお答え下さい。 **Q1-①** **※必須**

- (1) 1～4人 (2) 5～9人 (3) 10～19人 (4) 20～29人
(5) 30～49人 (6) 50～99人 (7) 100人以上 (8) なし

Q 5、貴社のパート・アルバイトなど非正社員や派遣・請負社員の人数をお答え下さい。 **Q1-②** **※必須**

- (1) 1～4人 (2) 5～9人 (3) 10～19人 (4) 20～29人
(5) 30～49人 (6) 50～99人 (7) 100人以上 (8) なし

→Q 16へ

Q 6、昨年の冬の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しましたか。 **Q1-①**

- (1) 支給した (2) 支給しなかった

Q 7、昨年の冬の賞与（役員賞与は除く）の1人平均賞与支給額（数字のみ記入）をご記入下さい。

（全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入）記入例：30万5千円の場合→305000

●記述回答 **Q1-①**

※元データを以下に分類

- (1) 10万円未満 (2) 10～20万円未満 (3) 20～30万円未満 (4) 30～40万円未満
(5) 40～50万円未満 (6) 50～60万円未満 (7) 60～70万円未満 (8) 70万円以上

Q 8、今年の夏の賞与(役員賞与は除く)を正社員に支給しますか。(既に支給された方も含む) Q1-① ※必須

(1) 支給する(支給した) → Q 9へ (2) 支給しない → Q 1 6へ (3) 検討中または未定 → Q 1 6へ

Q 9、賞与支給方法は、どのようにして決めますか。 ●複数回答 Q7-①

- (1) 給与連動式(基本給などに対して支給率を決めたもの)
- (2) 業績連動式(組織の業績や個人の業績に応じたもの)
- (3) 全員一律の金額(賞与の全額又は一部)
- (4) 労使交渉(社員との話し合いを含む)
- (5) その他

Q 1 0、賞与額の主な計算基準をお答え下さい。 ●複数回答 Q7-①

- (1) 定額金額 (2) ○カ月計算 (3) 査定評価 (4) その他

Q 1 1、1人平均賞与支給額(数字のみ記入)をご記入下さい。

(全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入) 記入例: 30万5千円の場合 → 305000

●記述回答 Q7-①

※元データを以下に分類

- (1) 10万円未満 (2) 10～20万円未満 (3) 20～30万円未満 (4) 30～40万円未満
- (5) 40～50万円未満 (6) 50～60万円未満 (7) 60～70万円未満 (8) 70万円以上

Q 1 2、1人平均賞与支給月数をお答え下さい。(1人平均賞与支給額÷1人平均所定内賃金)

※所定内賃金は残業代を含まず。 Q7-①

- (1) 1カ月未満 (2) 1～2カ月未満 (3) 2～3カ月未満 (4) 3～4カ月未満 (5) 4カ月以上

Q 1 3、1人平均賞与支給額は、昨年夏の金額と比べてどうなりましたか。 Q7-①

- (1) 減少した (2) 昨年並み (3) 増加した

Q 1 4、賞与の支給(予定)基準日はいつ頃ですか Q7-①

- (1) 5月以前 (2) 6月上旬(1日～15日) (3) 6月下旬(16日～30日) (4) 7月上旬(1日～15日)
- (5) 7月下旬(16日～31日) (6) 8月以降

Q 1 5、パートやアルバイトなど非正社員にも、今年の夏の賞与を支給しますか。

(既に支給された方も含む) Q7-①

- (1) 支給する(支給した) (2) 支給しない (3) 検討中または未定 (4) 対象者なし

Q 1 6、賞与に関して何かご意見があればお答え下さい。 ●記述回答

2022年・2021年・2020年夏賞与支給額の比較

※前回答者から大幅に変わった個所については下線部で示した

1)業種×正社員×平均賞与支給額		1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計
建設業	2022年(円)	313,429	294,368	448,205	312,600	323,500	330,000	370,000	342,631
	回答数(社)	21	19	16	5	2	2	2	67
	2021年(円)	274,635	307,588	362,867	307,769	321,667		405,000	310,770
	回答数(社)	26	17	15	3	3		2	66
	2020年(円)	268,742	337,133	353,188	390,000	359,600		400,000	326,979
回答数(社)	22	30	16	5	5		1	81	
製造業	2022年(円)	215,625	283,138	302,118	353,644	324,343	448,938	402,000	321,828
	回答数(社)	16	29	23	16	15	16	5	120
	2021年(円)	255,045	275,684	292,143	284,176	347,357		435,632	311,928
	回答数(社)	22	19	28	17	14		19	125
	2020年(円)	263,633	296,549	282,325	304,312	269,875		372,776	288,870
回答数(社)	15	26	44	22	23		19	155	
流通・商業	2022年(円)	470,136	322,356	320,474	325,167	349,545	400,000	374,870	370,245
	回答数(社)	22	19	19	6	11	4	8	89
	2021年(円)	307,619	389,275	340,081	340,143	390,500		389,445	352,051
	回答数(社)	21	14	14	7	12	5	4	89
	2020年(円)	319,531	342,250	238,067	326,800	387,000		277,500	313,510
回答数(社)	28	18	15	5	10		8	89	
サービス業	2022年(円)	350,554	286,138	373,067	404,222	257,143	470,333	300,000	344,982
	回答数(社)	42	21	15	9	7	6	2	102
	2021年(円)	349,073	280,364	303,382	448,667	312,556		424,143	332,463
	回答数(社)	48	22	25	6	9	7	4	135
	2020年(円)	316,553	270,769	325,736	313,556	319,500		441,333	316,156
回答数(社)	47	26	25	10	10		6	128	
総計	2022年(円)	347,507	298,042	353,493	355,930	318,775	438,036	373,468	343,163
	回答数(社)	101	88	73	36	35	28	17	378
	2021年(円)	307,410	306,734	316,691	328,100	350,710		425,588	326,061
	回答数(社)	117	72	82	33	38		31	121
	2020年(円)	300,819	310,248	297,877	319,391	313,961		363,257	311,657
回答数(社)	112	100	100	42	48		34	453	

2022年-2021年	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
	40,097	-8,692	36,802	27,830	-31,935	12,448	31,612

2022年-2021年	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	31,861	9,900	18,194	12,519	17,102

2022年-2020年	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
	46,689	-12,206	55,616	36,539	4,814	74,779	29,880

2022年-2020年	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	15,652	22,958	56,735	28,826	31,506

2022年・2021年夏賞与支給額(「支給しない」回答者含む)

業種×正社員×平均賞与支給額

	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上	総計
建設業	2022年支給額(円)	313,429	294,368	448,205	312,600	323,500	370,000	342,631
	回答数(社)	21	19	16	5	2	2	2
	2021年支給額(円)	205,688	266,333	398,404	312,600	323,500	330,000	278,955
	回答数(社)	32	21	18	5	2	2	2
製造業	2022年支給額(円)	215,625	293,138	302,118	353,844	324,343	448,938	321,828
	回答数(社)	16	29	23	16	15	16	5
	2021年支給額(円)	186,347	290,500	340,188	307,769	241,250	405,000	259,630
	回答数(社)	36	16	16	3	4	2	79
流通・商業	2022年支給額(円)	470,136	322,368	320,474	325,167	349,545	400,000	370,245
	回答数(社)	22	19	19	6	11	4	8
	2021年支給額(円)	279,541	306,240	264,739	278,714	274,643	400,000	291,609
	回答数(社)	37	20	23	7	14	4	113
サービス業	2022年支給額(円)	307,619	389,275	340,081	340,143	390,500	389,445	352,051
	回答数(社)	21	14	14	7	12	5	4
	2021年支給額(円)	208,387	302,770	264,507	264,556	360,462	389,445	276,611
	回答数(社)	31	18	18	9	13	5	4
サービス業	2022年支給額(円)	347,507	298,042	373,067	404,222	257,143	470,333	344,982
	回答数(社)	42	21	15	7	7	6	2
	2021年支給額(円)	283,384	261,257	310,889	363,800	257,143	403,143	286,116
	回答数(社)	57	23	18	10	7	7	2
サービス業	2022年支給額(円)	226,426	212,690	270,877	299,111	312,556	371,125	249,864
	回答数(社)	74	29	28	9	9	8	4
	2021年支給額(円)	347,507	298,042	353,493	355,931	318,775	438,036	343,163
	回答数(社)	101	88	73	36	35	28	17
総計	2022年支給額(円)	239,111	276,081	314,695	337,197	286,081	422,931	290,191
	回答数(社)	148	95	82	38	39	29	17
	2021年支給額(円)	307,410	306,734	316,681	328,100	350,711	425,568	326,061
	回答数(社)	117	72	82	33	38	31	16
2022年支給額(円)	210,333	256,801	288,541	270,683	325,049	412,288	266,466	
回答数(社)	171	86	90	40	41	32	16	

2022年-2021年	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上
	28,778	19,280	26,154	66,515	-38,968	10,643	31,612

2022年-2021年	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	-20,324	16,831	14,997	36,252	23,726

2016年夏～2022年夏 賞与支給額の経過比較

1)業種×正社員×平均賞与支給額(円)

		1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計
建設業	2022年夏	313,429	294,368	448,205	312,600	323,500	330,000	370,000	342,631
	回答数(社)	21	19	16	5	2	2	2	67
	2021年冬	313,042	319,853	397,941	530,000	375,000	300,000	540,000	359,030
	回答数(社)	18	19	17	3	2	3	3	65
	2021年夏	274,635	307,588	362,867	307,769	321,667		405,000	310,770
	回答数(社)	26	17	15	3	3		2	66
	2020年冬	237,659	302,286	378,900	425,054	450,000	292,500	450,000	320,327
	回答数(社)	22	35	25	8	1	4	1	96
	2020年夏	268,742	337,133	353,188	390,000	359,600	400,000	330,000	326,979
	回答数(社)	22	30	16	5	5	1	2	81
	2019年冬	276,000	315,941	396,250	363,750	416,667	350,000	670,000	331,061
	回答数(社)	33	34	22	5	5	2	1	102
	2019年夏	290,526	336,093	345,167	318,000	376,667	366,500	440,000	329,340
	回答数(社)	19	27	20	5	3	3	2	79
	2018年冬	370,348	425,389	354,333	527,667	416,667			392,306
	回答数(社)	23	18	15	3	3			62
	2018年夏	254,971	329,476	426,087	381,500	378,750	548,000	352,000	336,411
	回答数(社)	34	21	23	6	8	1	2	95
	2017年冬	325,069	350,625	306,923	226,667	383,333		490,000	328,415
	回答数(社)	29	16	13	3	3		1	65
2017年夏	246,477	302,424	389,278	276,727	365,000	300,000		302,175	
回答数(社)	30	33	18	11	6	1		99	
2016年冬	252,122	338,400	371,848	432,200	352,000	409,000	600,000	332,264	
回答数(社)	41	50	33	10	5	4	1	144	
2016年夏	295,652	302,667	351,583	392,000	291,600	481,250		330,539	
回答数(社)	23	15	24	5	5	4		76	
製造業	2022年夏	215,625	293,138	302,118	353,844	324,343	448,938	402,000	321,828
	回答数(社)	16	29	23	16	15	16	5	120
	2021年冬	311,083	259,867	396,000	284,500	349,538	380,250	447,500	339,923
	回答数(社)	18	15	24	12	13	12	4	98
	2021年夏	255,045	275,684	292,143	284,176	347,357	435,632	331,833	311,928
	回答数(社)	22	19	28	17	14	19	6	125
	2020年冬	265,444	271,753	330,258	307,263	292,844	382,308	351,468	308,524
	回答数(社)	18	22	31	19	18	13	6	127
	2020年夏	263,633	296,549	282,325	304,312	269,875	372,776	375,500	298,870
	回答数(社)	15	26	44	22	23	19	6	155
	2019年冬	236,444	272,026	332,031	315,375	333,238	341,545	340,400	301,250
	回答数(社)	26	21	30	12	17	8	1	115
	2019年夏	347,460	305,357	280,470	316,000	288,375	314,340	416,167	311,448
	回答数(社)	21	28	31	19	17	10	7	133
	2018年冬	345,833	314,962	331,680	376,762	347,789	340,769	545,800	349,669
	回答数(社)	12	26	25	21	19	13	5	121
	2018年夏	309,737	338,000	278,464	345,009	297,000	438,583	515,667	333,913
	回答数(社)	19	30	28	22	19	12	6	136
	2017年冬	291,333	324,318	358,633	311,647	413,636	353,403	555,000	347,449
	回答数(社)	15	22	30	17	11	11	4	110
2017年夏	288,900	317,032	383,889	273,105	287,708	367,636	490,800	325,277	
回答数(社)	20	31	27	19	24	11	5	137	
2016年冬	294,063	297,026	350,650	304,313	323,536	312,769	456,250	322,102	
回答数(社)	32	38	50	32	28	13	8	201	
2016年夏	315,667	313,000	330,297	348,813	258,371	309,258	401,333	319,634	
回答数(社)	15	19	37	16	17	12	6	122	
流通・商業	2022年夏	470,136	322,358	320,474	325,167	349,545	400,000	374,870	370,245
	回答数(社)	22	19	19	6	11	4	8	89
	2021年冬	300,952	285,056	335,722	398,625	387,500	399,111	305,000	329,226
	回答数(社)	21	18	18	8	4	9	6	84
	2021年夏	307,619	389,275	340,081	340,143	390,500	389,445	355,675	352,051
	回答数(社)	21	14	14	7	12	5	4	89
	2020年冬	360,276	268,463	347,640	314,111	370,923	374,286	425,000	340,221
	回答数(社)	29	22	23	9	13	7	5	108
	2020年夏	319,531	342,250	238,067	326,800	387,000	277,500	300,000	313,510
	回答数(社)	28	18	15	5	10	8	5	89
	2019年冬	279,054	298,154	345,958	311,889	409,588	376,500	399,333	323,765
	回答数(社)	55	30	23	11	13	5	4	141
	2019年夏	270,438	347,500	387,333	289,667	485,400	330,625	246,667	334,850
	回答数(社)	16	12	21	16	5	8	3	81
	2018年冬	286,778	383,000	392,200	324,150	440,000	643,333		383,477
	回答数(社)	9	10	20	8	7	3		57
	2018年夏	297,813	269,913	376,120	264,200	345,714	422,500	300,000	319,525
	回答数(社)	16	16	25	15	7	4	2	85
	2017年冬	262,421	339,988	344,895	344,667	440,000	330,000	320,000	325,523
	回答数(社)	19	10	19	6	5	1	1	61
2017年夏	270,991	296,944	343,476	293,615	313,333	333,500	244,000	299,327	
回答数(社)	32	18	21	13	9	4	3	100	
2016年冬	297,375	386,567	331,667	250,526	403,846	431,500	366,667	337,971	
回答数(社)	24	30	22	19	13	4	3	115	
2016年夏	243,318	350,889	366,750	298,300	379,893	233,000	307,500	325,098	
回答数(社)	11	18	16	10	7	3	4	69	

2016年夏～2022年夏 賞与支給額の経過比較

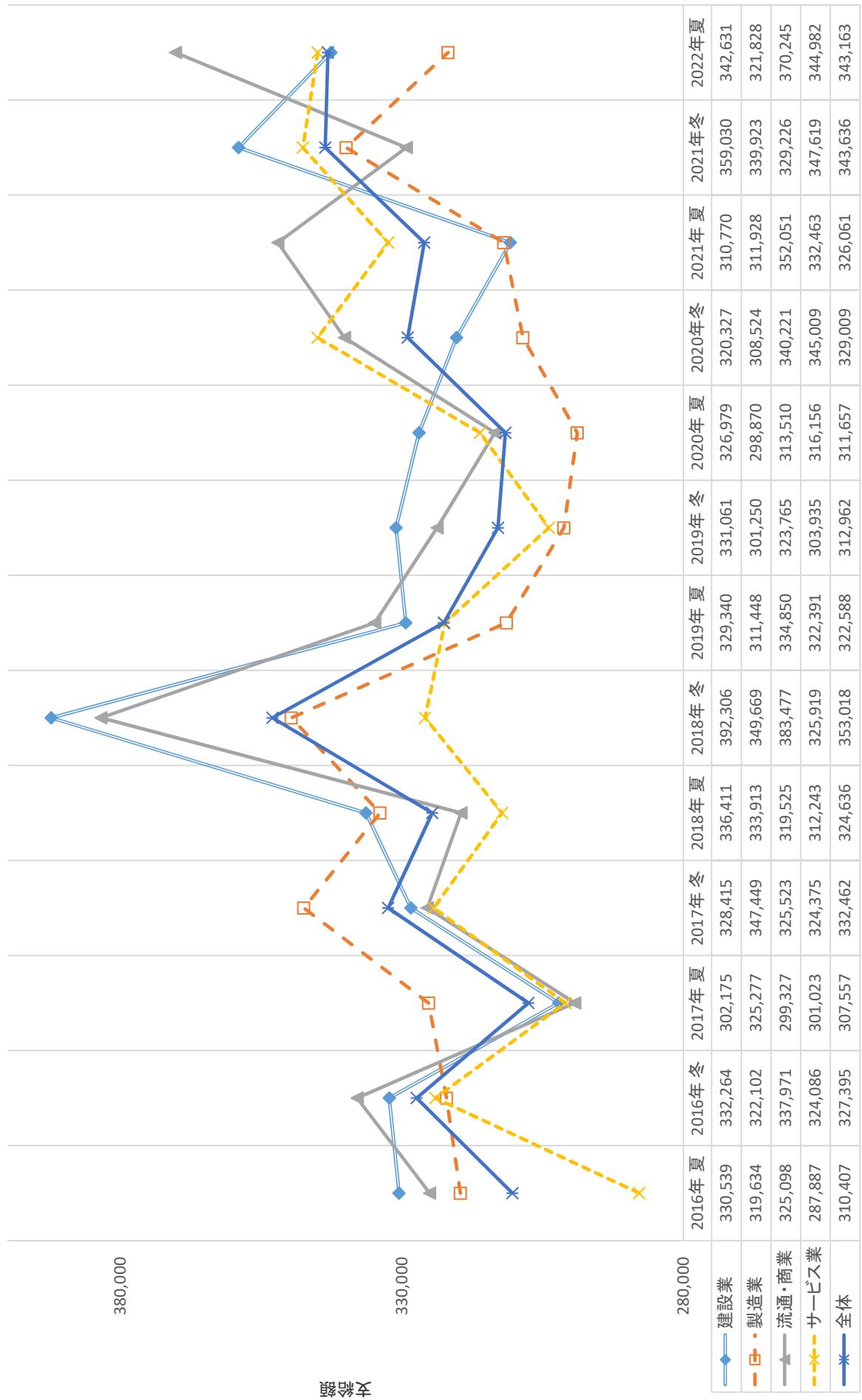
1)業種×正社員×平均賞与支給額(円)

		1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計
サービス業	2022年夏	350,554	286,138	373,067	404,222	257,143	470,333	300,000	344,982
	回答数(社)	42	21	15	9	7	6	2	102
	2021年冬	365,750	352,333	317,116	354,190	354,833	315,167	323,333	347,619
	回答数(社)	54	33	32	10	6	6	3	144
	2021年夏	349,073	280,364	303,382	448,667	312,556	424,143	311,500	332,463
	回答数(社)	48	22	25	6	9	7	4	135
	2020年冬	348,146	296,371	298,056	577,667	440,778	255,000	333,540	345,009
	回答数(社)	54	42	18	9	9	2	5	139
	2020年夏	316,553	270,769	325,736	313,556	319,500	441,333	357,000	316,156
	回答数(社)	47	26	25	10	10	6	4	128
	2019年冬	277,410	304,410	278,831	429,333	419,000	306,500	350,000	303,935
	回答数(社)	90	50	21	5	8	7	2	183
	2019年夏	317,039	287,139	344,727	353,938	245,974	509,667	361,000	322,391
	回答数(社)	52	36	23	16	10	7	4	148
	2018年冬	313,510	332,244	324,167	366,923	336,818	305,000	301,750	325,919
	回答数(社)	51	32	24	13	11	4	4	139
	2018年夏	281,803	304,045	356,534	330,857	291,125	356,000	321,300	312,243
	回答数(社)	61	22	32	14	8	10	10	157
	2017年冬	295,289	348,313	364,183	272,556	411,209	361,400	240,000	324,375
	回答数(社)	45	26	24	9	5	5	5	119
	2017年夏	272,492	291,206	308,355	333,249	408,750	349,444	350,700	301,023
	回答数(社)	61	34	31	15	4	9	10	164
	2016年冬	275,573	318,543	349,457	415,130	374,167	291,175	452,333	324,086
	回答数(社)	89	70	46	23	6	12	12	258
2016年夏	265,609	286,797	269,448	315,095	318,164	301,909	385,975	287,887	
回答数(社)	46	37	34	21	6	11	8	163	
総計	2022年夏	347,507	298,042	353,493	355,931	318,775	438,036	373,468	343,163
	回答数(社)	101	88	73	36	35	28	17	378
	2021年冬	336,079	314,508	356,700	355,603	358,920	364,867	388,125	343,636
	回答数(社)	111	85	91	33	25	30	16	391
	2021年夏	307,410	306,734	316,691	328,100	350,711	425,588	341,856	326,061
	回答数(社)	117	72	82	33	38	31	16	121
	2020年冬	319,142	288,532	340,941	383,654	353,907	356,538	373,618	329,009
	回答数(社)	123	121	97	45	41	26	17	470
	2020年夏	300,819	310,248	297,877	319,391	313,961	363,257	343,588	311,657
	回答数(社)	112	100	100	42	48	34	17	453
	2019年冬	271,357	298,116	334,803	346,704	382,426	342,103	390,571	312,962
	回答数(社)	204	135	96	33	43	22	8	541
	2019年夏	311,333	312,448	332,887	320,036	312,669	368,438	366,154	322,588
	回答数(社)	108	103	95	56	35	28	16	441
	2018年冬	328,821	352,416	347,988	374,627	366,075	379,000	437,333	353,018
	回答数(社)	95	86	84	45	40	20	9	379
	2018年夏	280,838	315,355	355,640	324,109	319,571	409,667	380,550	324,636
	回答数(社)	130	89	108	57	42	27	20	473
	2017年冬	296,954	340,554	349,330	299,971	414,835	354,378	384,545	332,462
	回答数(社)	108	74	86	35	24	17	11	355
	2017年夏	268,993	302,190	352,000	293,944	315,116	352,920	371,833	307,557
	回答数(社)	143	116	97	58	43	25	18	500
	2016年冬	276,398	330,330	352,153	337,714	352,192	330,973	449,083	327,395
	回答数(社)	186	188	151	84	52	33	24	718
2016年夏	278,205	308,028	321,516	329,635	297,672	321,870	373,656	310,407	
回答数(社)	95	89	111	52	35	30	18	430	

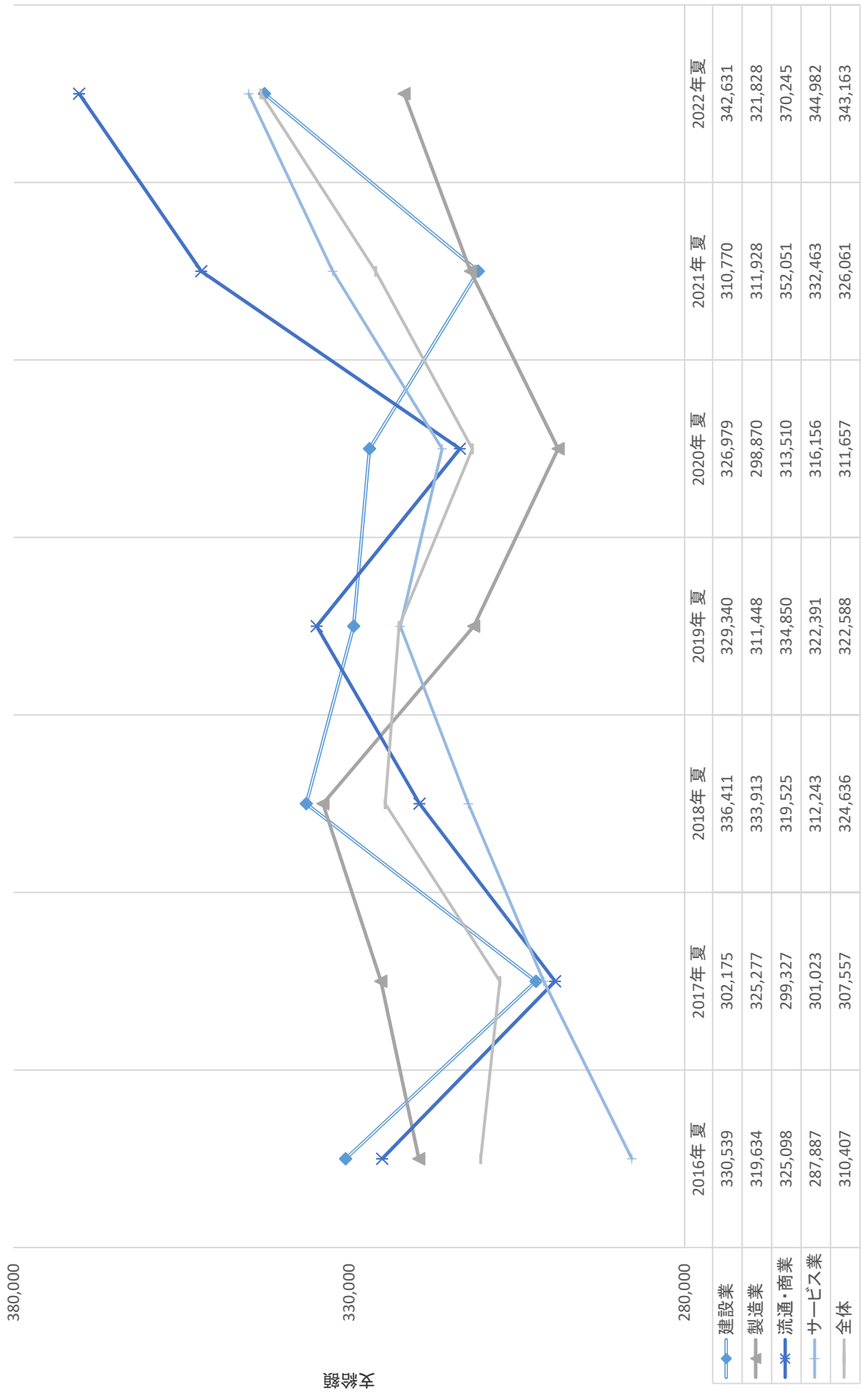
2022年夏-2016年夏	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
	69,302	-9,986	31,977	26,296	21,103	116,166	-188

2022年夏-2016年夏	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	12,092	2,194	45,147	57,095	32,756

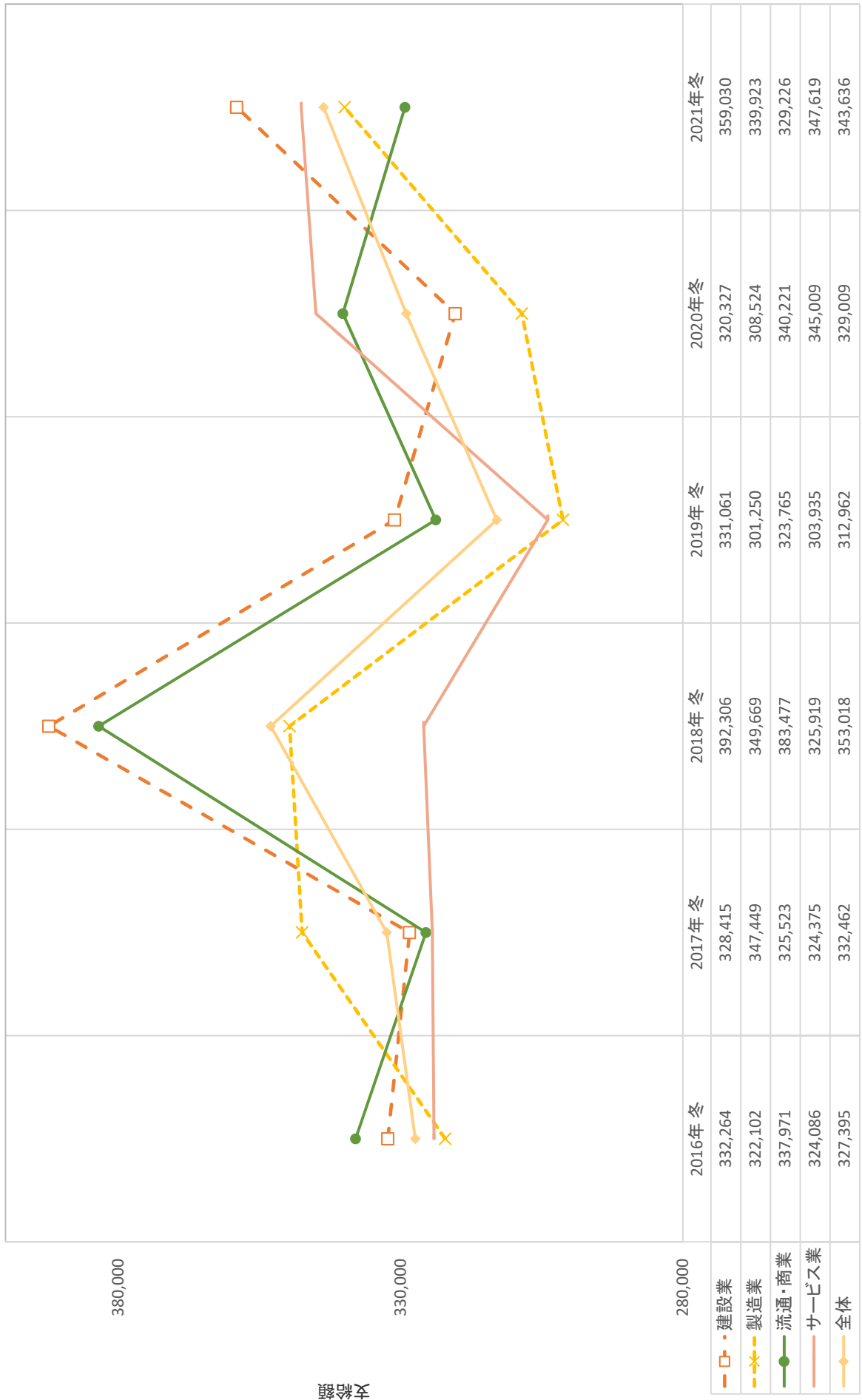
賞与支給額の変化（2016年夏以降）



夏賞与支給額の変化（2016年以降）

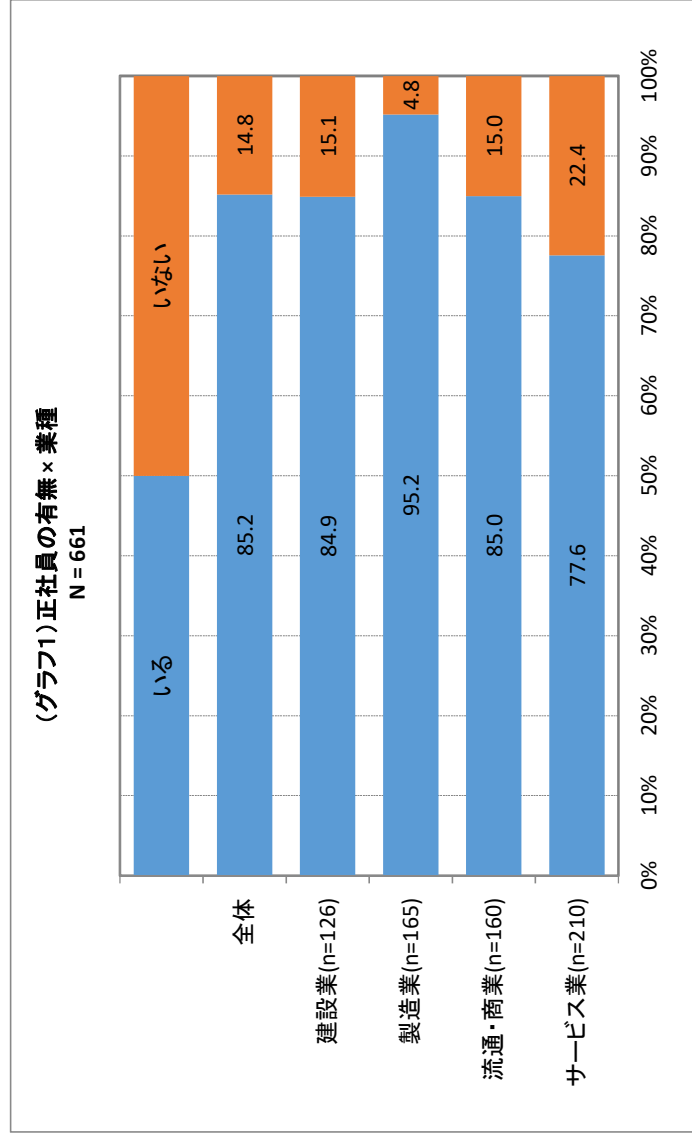


冬賞与支給額の変化（2016年以降）



Q1.正社員の有無 × 業種

業種	正社員の有無	
	上段:度数 下段:%	合計
全体	661 100.0	563 85.2
建設業	126 100.0	107 84.9
製造業	165 100.0	157 95.2
流通・商業	160 100.0	136 85.0
サービス業	210 100.0	163 77.6
		いる
		いない
		98 14.8
		19 15.1
		8 4.8
		24 15.0
		47 22.4

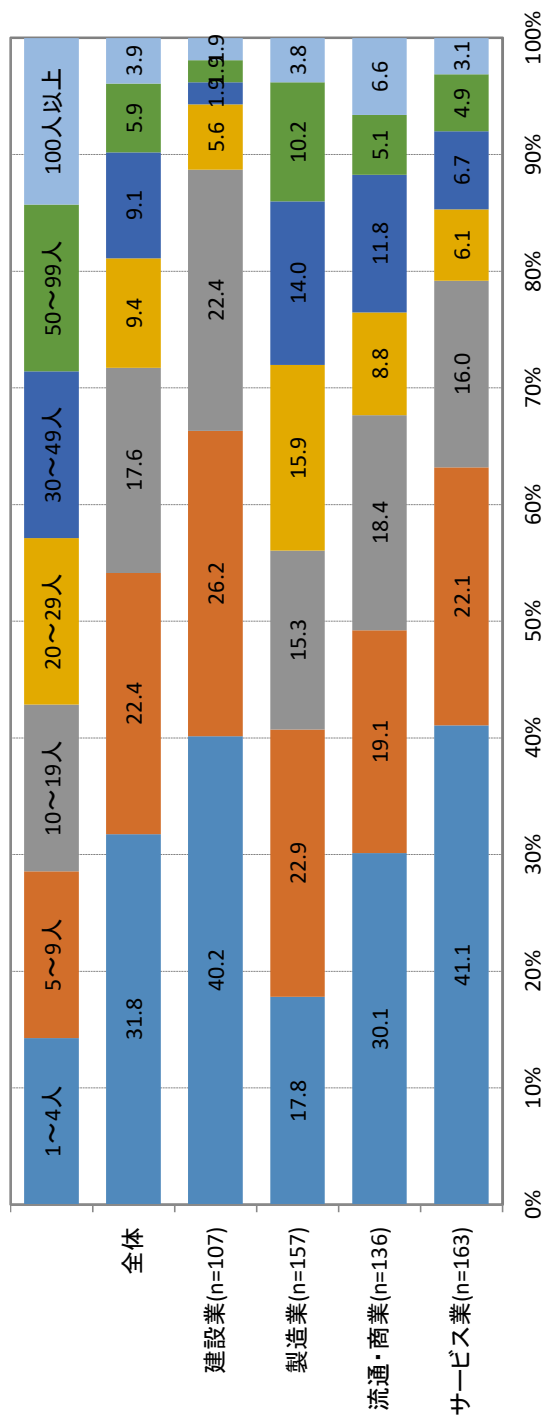


Q2.正社員数 × 業種

業種	正社員数									
	上段:度数 下段:%	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上		
合計	563 100.0	179 31.8	126 22.4	99 17.6	53 9.4	51 9.1	33 5.9	22 3.9		
建設業	107 100.0	43 40.2	28 26.2	24 22.4	6 5.6	2 1.9	2 1.9	2 1.9		
製造業	157 100.0	28 17.8	36 22.9	24 15.3	25 15.9	22 14.0	16 10.2	6 3.8		
流通・商業	136 100.0	41 30.1	26 19.1	25 18.4	12 8.8	16 11.8	7 5.1	9 6.6		
サービス業	163 100.0	67 41.1	36 22.1	26 16.0	10 6.1	11 6.7	8 4.9	5 3.1		

(グラフ2)正社員数 × 業種

N = 563

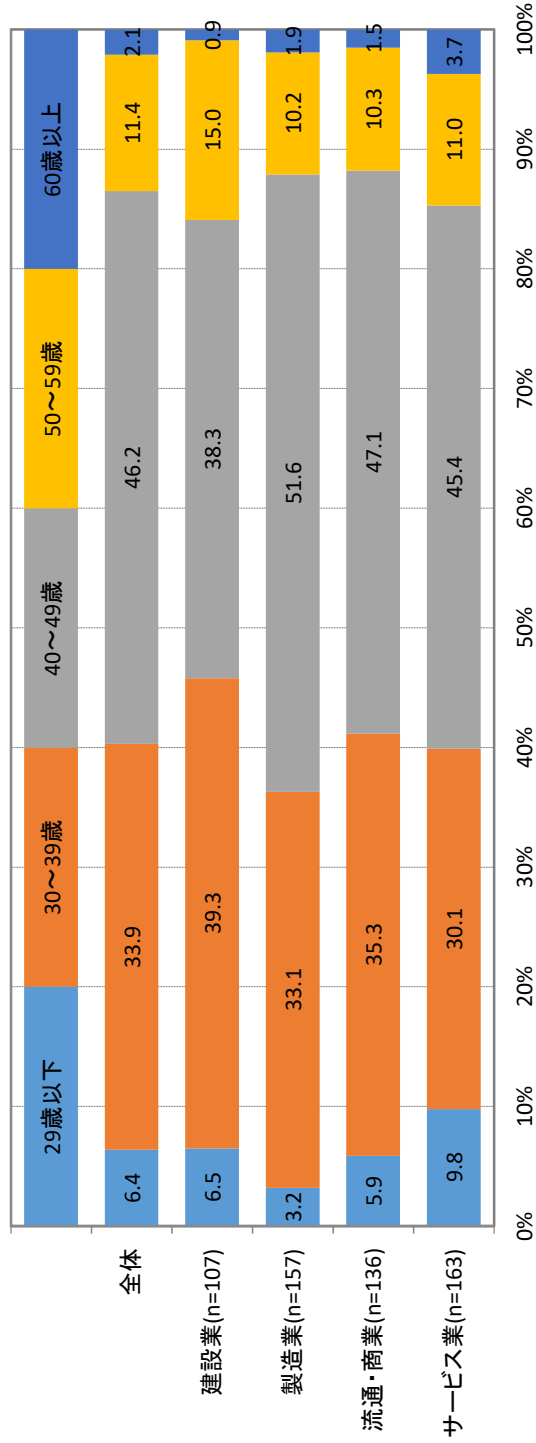


Q3.正社員の平均年齢 × 業種

上段:度数		正社員の平均年齢						
		下段:%	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
合計	563	36	191	260	64	12		
全体	100.0	6.4	33.9	46.2	11.4	2.1		
建設業	107	7	42	41	16	1		
	100.0	6.5	39.3	38.3	15.0	0.9		
製造業	157	5	52	81	16	3		
	100.0	3.2	33.1	51.6	10.2	1.9		
流通・商業	136	8	48	64	14	2		
	100.0	5.9	35.3	47.1	10.3	1.5		
サービス業	163	16	49	74	18	6		
	100.0	9.8	30.1	45.4	11.0	3.7		

(グラフ3)正社員の平均年齢 × 業種

N = 563

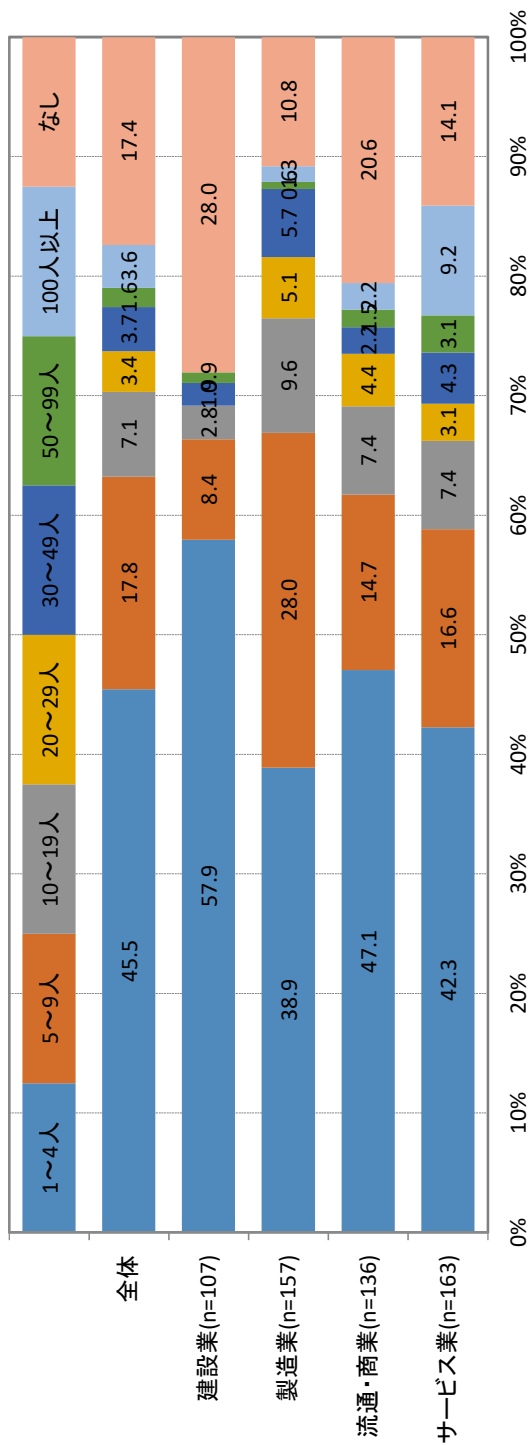


Q4.非正規社員数 × 業種

業種	非正規社員数										
	上段:度数	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上	なし		
全体	下段:%	合計	563	256	100	40	19	21	9	20	98
			100.0	45.5	17.8	7.1	3.4	3.7	1.6	3.6	17.4
建設業			107	62	9	3	-	2	1	-	30
			100.0	57.9	8.4	2.8	-	1.9	0.9	-	28.0
製造業			157	61	44	15	8	9	1	2	17
			100.0	38.9	28.0	9.6	5.1	5.7	0.6	1.3	10.8
流通・商業			136	64	20	10	6	3	2	3	28
			100.0	47.1	14.7	7.4	4.4	2.2	1.5	2.2	20.6
サービス業			163	69	27	12	5	7	5	15	23
			100.0	42.3	16.6	7.4	3.1	4.3	3.1	9.2	14.1

(グラフ4)非正規社員数 × 業種

N = 563

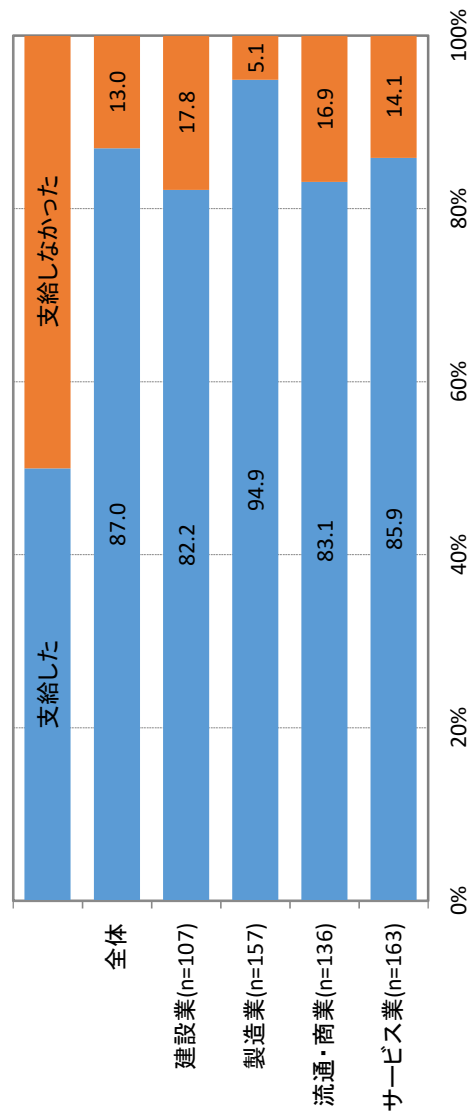


Q5.冬賞与の支給 × 業種

		冬賞与の支給		
		合計	支給した	支給しなかった
業種	下段:%			
	全体	563 100.0	490 87.0	73 13.0
	建設業	107 100.0	88 82.2	19 17.8
	製造業	157 100.0	149 94.9	8 5.1
	流通・商業	136 100.0	113 83.1	23 16.9
	サービス業	163 100.0	140 85.9	23 14.1

(グラフ5)冬賞与の支給 × 業種

N = 563

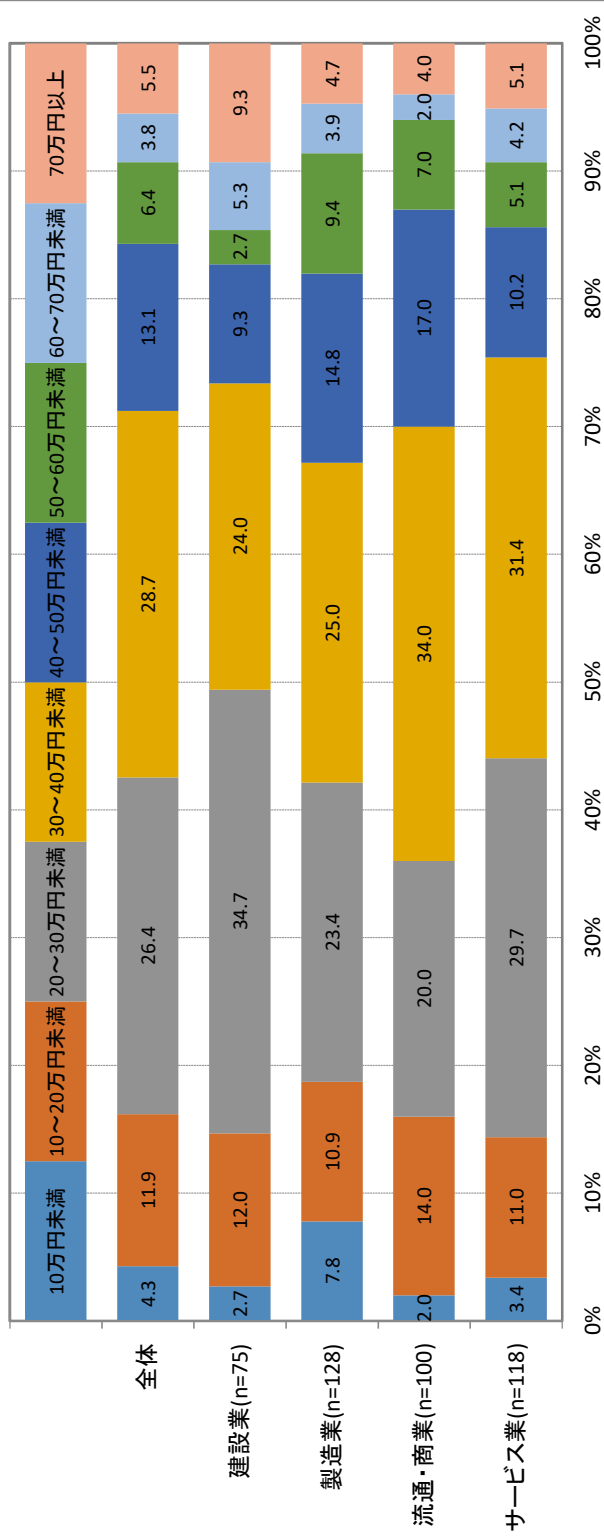


Q6.冬賞与の支給額 × 業種

業種	冬賞与の支給額									
	上段:度数	10万円未満	10~20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40~50万円未満	50~60万円未満	60~70万円未満	70万円以上	70万円以上
全体	421	18	50	111	121	55	27	16	23	5.5
	100.0	4.3	11.9	26.4	28.7	13.1	6.4	3.8	5.5	
建設業	75	2	9	26	18	7	2	4	7	9.3
	100.0	2.7	12.0	34.7	24.0	9.3	2.7	5.3	9.3	
製造業	128	10	14	30	32	19	12	5	6	4.7
	100.0	7.8	10.9	23.4	25.0	14.8	9.4	3.9	4.7	
流通・商業	100	2	14	20	34	17	7	2	4	4.0
	100.0	2.0	14.0	20.0	34.0	17.0	7.0	2.0	4.0	
サービス業	118	4	13	35	37	12	6	5	6	5.1
	100.0	3.4	11.0	29.7	31.4	10.2	5.1	4.2	5.1	

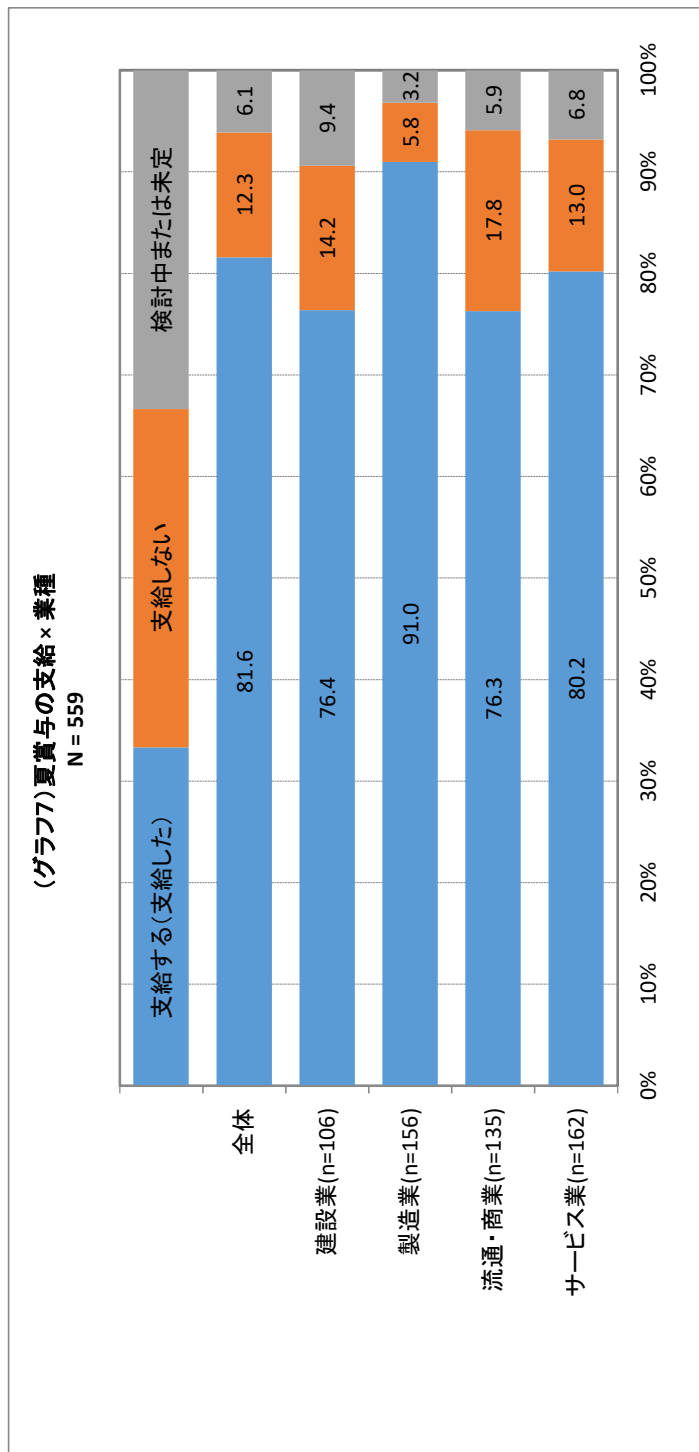
(グラフ6)冬賞与の支給額 × 業種

N = 421



Q7.夏賞与の支給 × 業種
上段:度数

夏賞与の支給		合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 または未定
下段:%					
全体		559 100.0	456 81.6	69 12.3	34 6.1
建設業		106 100.0	81 76.4	15 14.2	10 9.4
製造業		156 100.0	142 91.0	9 5.8	5 3.2
流通・商業		135 100.0	103 76.3	24 17.8	8 5.9
サービス業		162 100.0	130 80.2	21 13.0	11 6.8

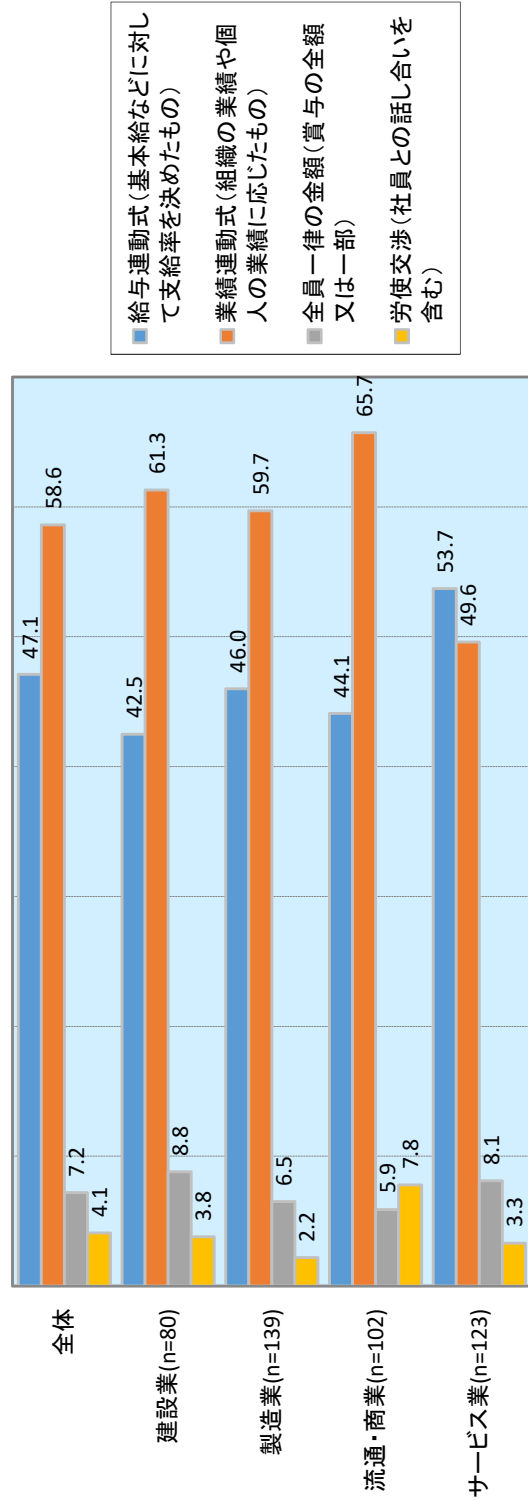


Q8.賞与の支給方法 × 業種
上段:度数

業種	賞与の支給方法				
	合計	給与連動式(基本給など)に対して支給率を決めたもの	業績連動式(組織の業績や個人の業績)に応じたもの	全員一律の金額(賞与の全額)又は一部	労使交渉(社員との話し合いを含む)
全体	444 100.0	209 47.1	260 58.6	32 7.2	18 4.1
建設業	80 100.0	34 42.5	49 61.3	7 8.8	3 3.8
製造業	139 100.0	64 46.0	83 59.7	9 6.5	3 2.2
流通・商業	102 100.0	45 44.1	67 65.7	6 5.9	8 7.8
サービス業	123 100.0	66 53.7	61 49.6	10 8.1	4 3.3

(グラフ8) 賞与の支給方法 × 業種

N = 444

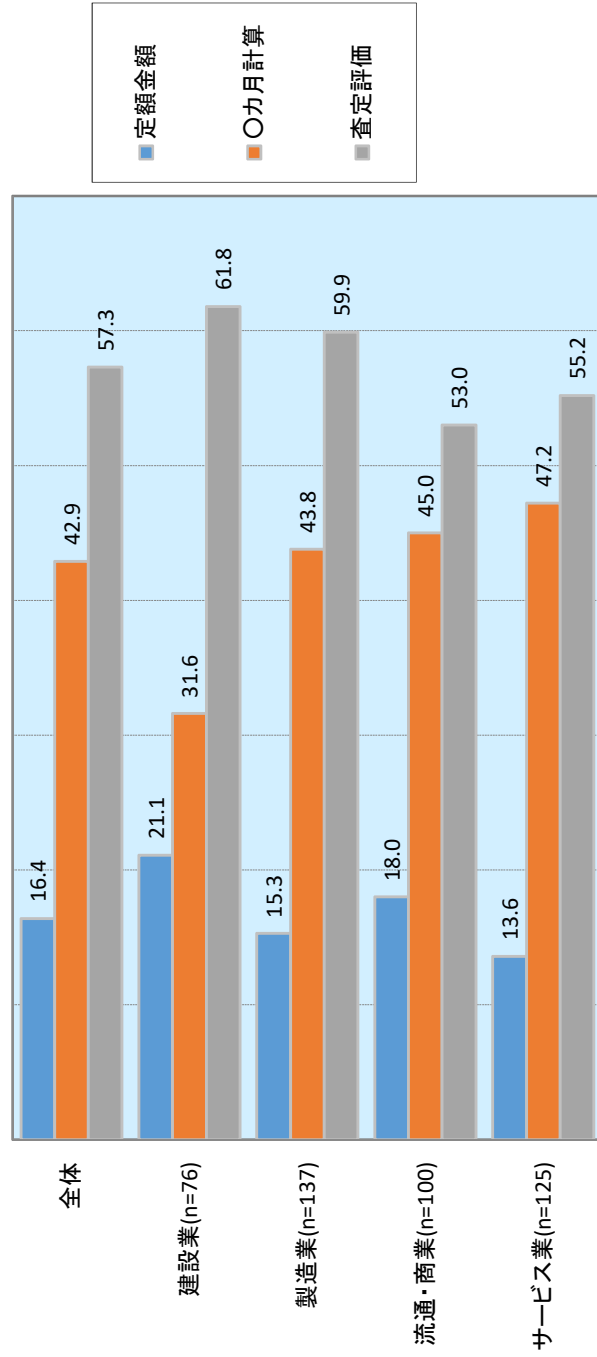


Q9.賞与額の主な計算基準 × 業種

賞与額の主な計算基準		合計	定額金額	〇カ月計算	査定評価
上段:度数	下段:%				
全体		438	72	188	251
		100.0	16.4	42.9	57.3
建設業		76	16	24	47
		100.0	21.1	31.6	61.8
製造業		137	21	60	82
		100.0	15.3	43.8	59.9
流通・商業		100	18	45	53
		100.0	18.0	45.0	53.0
サービス業		125	17	59	69
		100.0	13.6	47.2	55.2

(グラフ9)賞与額の主な計算基準 × 業種

N = 438

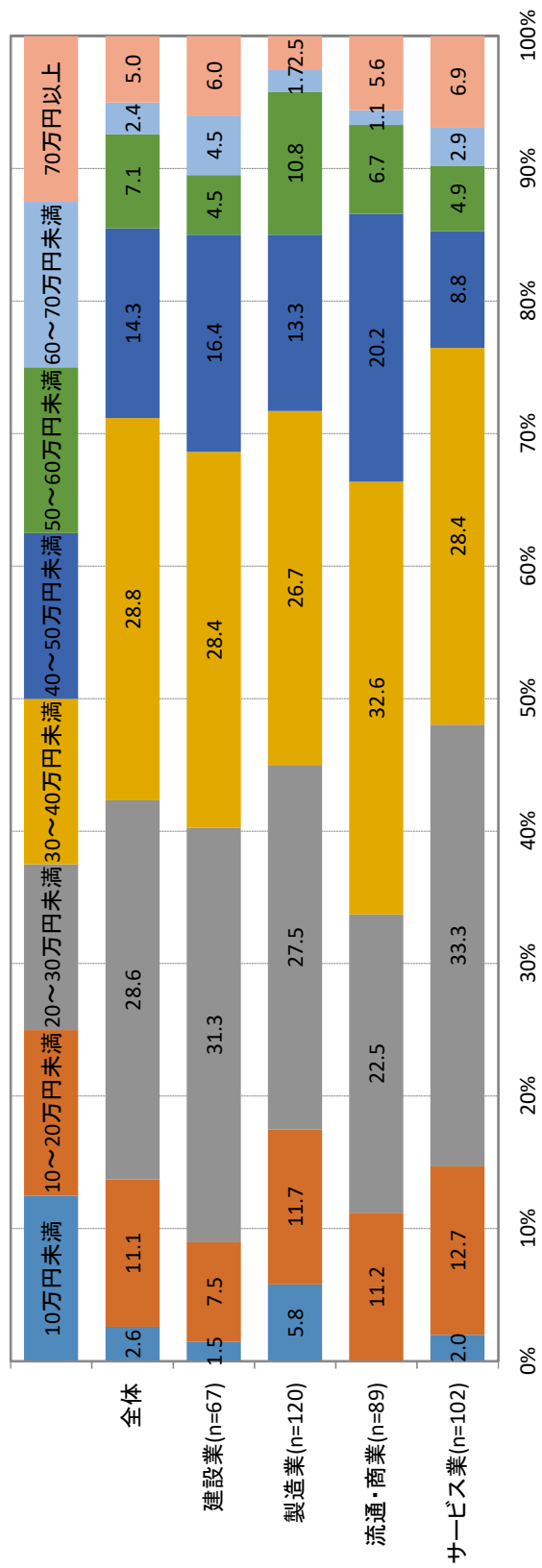


Q10.夏賞与の支給額 × 業種

夏賞与の支給額 × 業種		夏賞与の支給額									
		上段:度数	10万円未満	10~20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40~50万円未満	50~60万円未満	60~70万円未満	70万円以上	
業種	下段:%	合計	378	10	42	108	109	54	27	9	19
	全体	100.0	2.6	11.1	28.6	28.8	14.3	7.1	2.4	5.0	
	建設業	100.0	67	1	5	21	19	11	3	3	4
	製造業	120	7	14	33	32	16	13	2	3	
	流通・商業	100.0	89	-	10	20	29	18	6	1	5
	サービス業	102	2	13	34	29	9	5	3	7	
	100.0	2.0	12.7	33.3	28.4	8.8	4.9	2.9	6.9		

(グラフ10)夏賞与の支給額 × 業種

N = 378



Q11.賞与支給月数 × 業種

業種	賞与支給月数						
	上段:度数	下段:%	1か月未満	1か月~2か月未満	2か月~3か月未満	3か月~4か月未満	4か月以上
全体	450	100.0	88	282	66	7	7
建設業	79	100.0	19	45	13	1	1
製造業	141	100.0	33	80	25	3	-
流通・商業	103	100.0	18	67	15	-	3
サービス業	127	100.0	18	90	13	3	3
	100.0		14.2	70.9	10.2	2.4	2.4

(グラフ11) 賞与支給月数 × 業種

N = 450

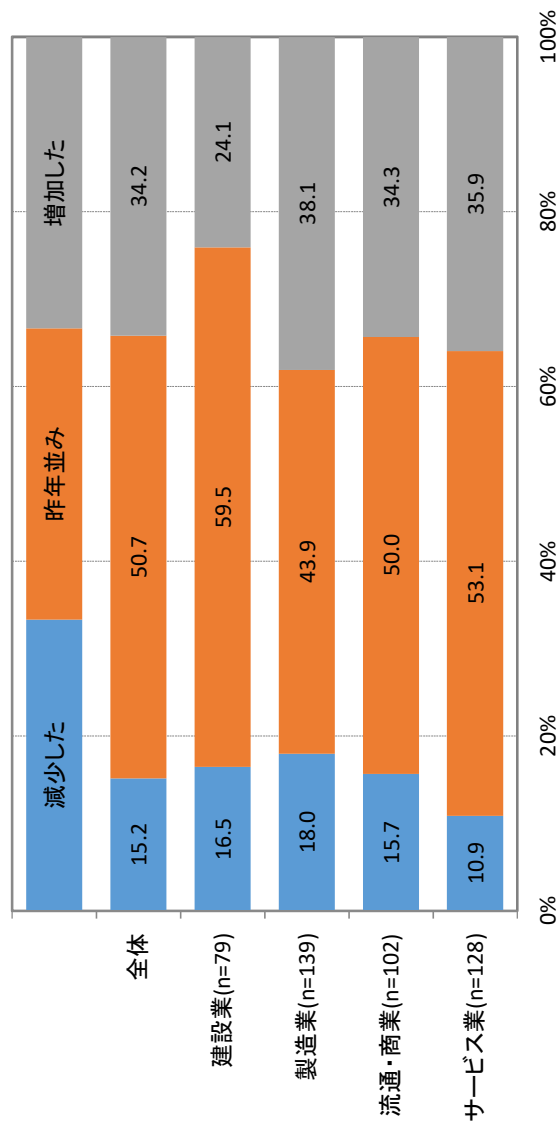


Q12.昨年夏の金額と比較 × 業種

業種	上段:度数		昨年夏の金額と比較		増加した
	下段:%	合計	減少した	昨年並み	
全体		448	68	227	153
		100.0	15.2	50.7	34.2
建設業		79	13	47	19
		100.0	16.5	59.5	24.1
製造業		139	25	61	53
		100.0	18.0	43.9	38.1
流通・商業		102	16	51	35
		100.0	15.7	50.0	34.3
サービス業		128	14	68	46
		100.0	10.9	53.1	35.9

(グラフ12) 昨年夏の金額と比較 × 業種

N = 448

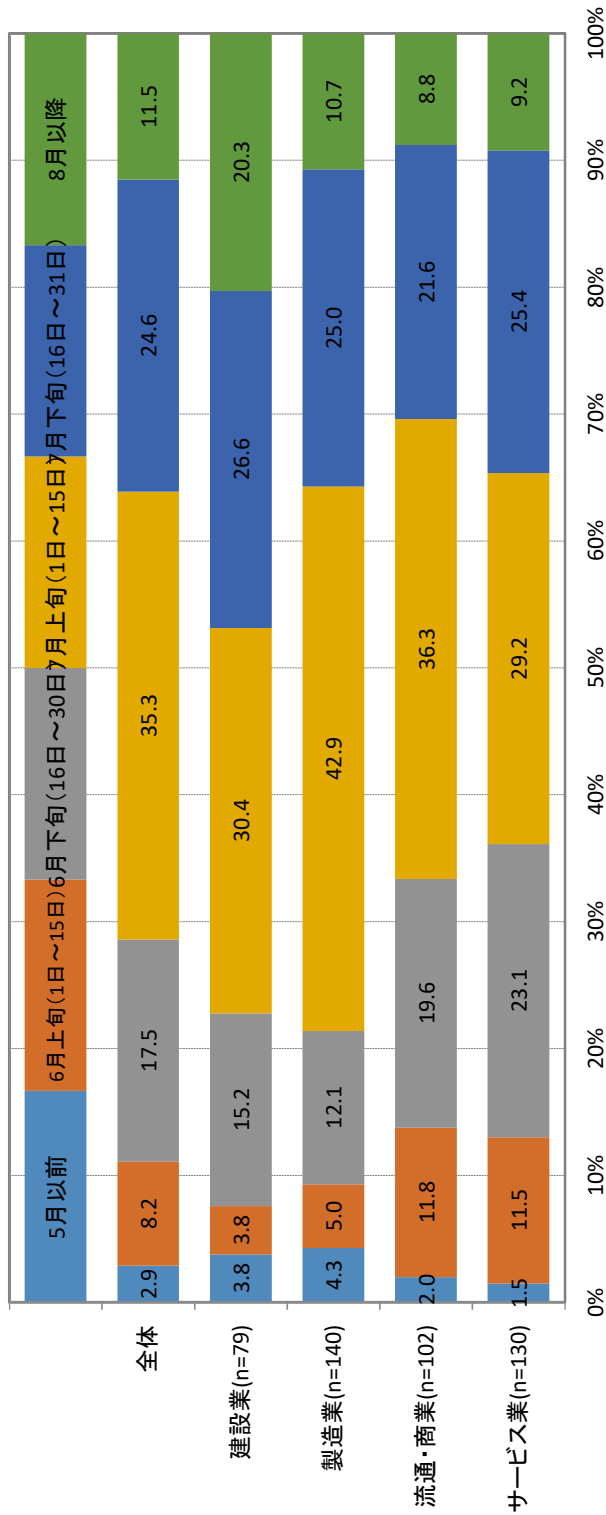


Q13.賞与の支給基準日 × 業種

賞与の支給基準日 × 業種		賞与の支給基準日							
		上段:度数	下段:%	5月以前	6月上旬 (1日~15日)	6月下旬 (16日~30日)	7月上旬 (1日~15日)	7月下旬 (16日~31日)	8月以降
合計				13	37	79	159	111	52
全体			100.0	2.9	8.2	17.5	35.3	24.6	11.5
建設業			100.0	3	3	12	24	21	16
製造業			100.0	3.8	3.8	15.2	30.4	26.6	20.3
流通・商業			100.0	4.3	5.0	12.1	42.9	25.0	10.7
サービス業			100.0	2	11.8	19.6	36.3	21.6	8.8
業種			100.0	1.5	11.5	23.1	29.2	25.4	9.2

(グラフ13)賞与の支給基準日 × 業種

N = 451

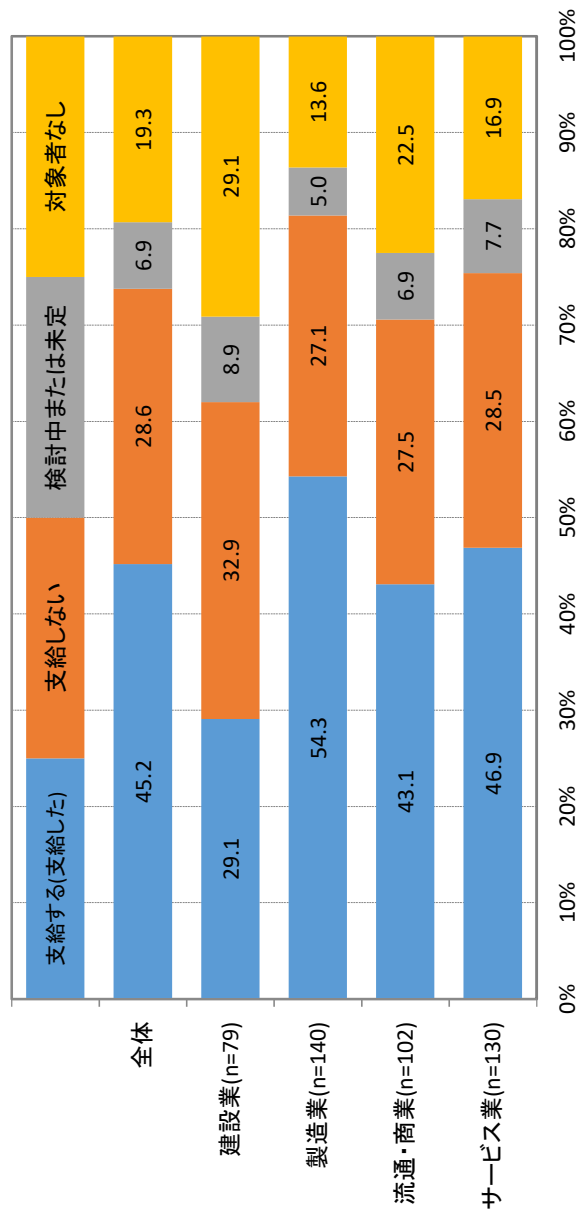


Q14.非正規社員にも夏の賞与を支給 × 業種

上段:度数		非正規社員にも夏の賞与を支給				
下段:%	合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 または未定	対象者なし	
全体	451 100.0	204 45.2	129 28.6	31 6.9	87 19.3	
建設業	79 100.0	23 29.1	26 32.9	7 8.9	23 29.1	
製造業	140 100.0	76 54.3	38 27.1	7 5.0	19 13.6	
流通・商業	102 100.0	44 43.1	28 27.5	7 6.9	23 22.5	
サービス業	130 100.0	61 46.9	37 28.5	10 7.7	22 16.9	

(グラフ14)非正規社員にも夏の賞与を支給 × 業種

N = 451



Q15, 賞与に関する意見

No	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
2	建設業	1~4人	支給する (支給した)	夏と冬の賞与額より、会社に利益が上がった時の決算賞与の算出の仕方を知りたい
3	建設業	1~4人	支給しない	材料費の高騰、運賃の値上げ、外注費の高騰、売値の値下げを踏まえ支給できる状況ではない。
4	建設業	1~4人	支給しない	検討します
5	建設業	1~4人	支給しない	プラスが2期連続以上で検討します
6	建設業	5~9人	支給する (支給した)	決算賞与も支給し、且つ今期の年収の底上げを行い、全員のモチベーションアップと愛社精神をもって頂き、建設業独特の「働き方」改善をお願いした。就業時間内での更なる効率化を求め生産高を維持しながら健康経営に取り組みたい。
7	建設業	10~19人	支給する (支給した)	決算の状況に応じて支給
8	建設業	10~19人	支給する (支給した)	今後、厳しい状況になっても賞与は確保して社員に払いたいと思っている
9	建設業	10~19人	支給する (支給した)	物価高で社員の生活も考慮すると、業績関係なく上げるしかない
10	建設業	10~19人	支給する (支給した)	賞与額の査定方法を皆さんがどうしているのか聞きたい。 代休未取得の休日出勤や有休残に対しての取り組みを聞いてみたい。
11	建設業	20~29人	支給する (支給した)	評価制度を導入中
12	建設業	正社員なし		賞与の査定基準が無い
13	製造業	1~4人	支給する (支給した)	賞与は基本的には昨年と全く同価格であるが、昨今の物価・燃料等の上昇につき、3~4%程アップした。
14	製造業	1~4人	支給する (支給した)	赤字続きなのですが、その場合はみなさんどうされていますか？
15	製造業	5~9人	支給する (支給した)	現在の会社購入品物価高騰を考えると、賞与は減少しなければいけない状況です。しかし、社員の生活必需品の物価も高騰していることを考えると、賞与も上げなきゃいけないです。いつまで耐えられるか、心配です。
16	製造業	5~9人	支給する (支給した)	物価上昇率がここへきて大きくなっている。このため賞与は例年1か月給料分としているものの不満がでるかもしれない。
17	製造業	5~9人	支給する (支給した)	業績的には出したいわけではないが、賃上げのご時世とモチベーション維持の為に少ないですが出します
18	製造業	5~9人	支給しない	コロナによる受注減の影響が大きく、未だ継続しているため資金的余裕がない
19	製造業	5~9人	支給する (支給した)	一生懸命仕事をしてくれているので出せるだけ出したいです。
20	製造業	5~9人	支給する (支給した)	1人当たりの付加価値が上がらないと賞与まで還元できない現状、経営者の責任を痛烈に感じる。
21	製造業	5~9人	支給する (支給した)	賞与を払える財務状態ではないが、世間の物価高を考えると出さないわけにはいかなかった。実質実入りが増えるような税制改革を期待する。これ以上の賃上げは難しい。
22	製造業	5~9人	支給する (支給した)	夏賞与の対象となる期間の業績は、本来、前年より支給額減少となる。しかし、巷の物価高等の情勢を考えると生活費に直結する給与に加え、今回分の賞与は通常より増額して支給しようと思う。いつまでもこんな状況では良くないと苦悩しながら、冬賞与も同じ悩みで苦労する自社の姿を想像してしまう。
23	製造業	5~9人	支給する (支給した)	大企業、上場企業の賞与アンケート結果などが報道されるが、「大企業、上場企業の」ということをもう少しアピールするか、報道をやめてほしい。中小零細社員のモチベーションが下がってしまう気がする。
24	製造業	10~19人	支給する (支給した)	赤字状態で賞与支給は厳しいが、物価高を考えるとできる限り対応したいと思っている。
25	製造業	10~19人	支給する (支給した)	仕入れ高を販売価格に転嫁出来てるので今は仕入れと売値の差益で利益を確保してるが、部品供給の乱れから生産計画が大幅に乱れて計画を大きく下振れしてるので、本業では稼げてない状況です。
26	製造業	10~19人	支給する (支給した)	中小・零細がいかにかに苦しいかを示すために、ボーナスゼロを含む分母を大きくし、我々のボーナスがいかにかに低いか発表してほしい。おそらくそれをして、中小・零細は平均100,000円とかになるかもしれないが、現実を発表してほしい。社員も大企業並みにもらえると思ってる人が多いので、しっかり現実を見せてほしい。
27	製造業	10~19人	支給する (支給した)	新卒採用をしていると、入社する人数によって1人当たり支給額の数値は参考にならなくなるのではないかと疑問に思う。

Q15, 賞与に関する意見

NO	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
28	製造業	10～19人	支給する（支給した）	アンケート結果は、業界の平均値を知る上では役に立っています。年俸(給料+賞与)で考えると、賞与のアンケートだけではわからない部分があります。
29	製造業	10～19人	支給する（支給した）	1人1人の金額を出すのが難しい
30	製造業	10～19人	支給する（支給した）	前期に比べ、業績は振るわなかったのですが、会社に支払い能力があったので、前期より多く支給しました。
31	製造業	20～29人	支給する（支給した）	業績が悪くても（赤字でも）賞与をあてにしているので支給しているが、会社としては苦しい
32	製造業	20～29人	支給する（支給した）	評価基準が難しい。基本給からの見直し（他社比較、業界比較）
33	製造業	20～29人	支給する（支給した）	業績が良かったので、増額することができたのでよかった。冬の賞与も増額できるようにしたい。
34	製造業	20～29人	支給する（支給した）	当期、夏季賞与金額が決まっていない。公務員、大手ならまだしもアンケートが早すぎるのでは。
35	製造業	30～49人	支給する（支給した）	今期は自動車減産の影響で業績悪いので少ししか出せない、心苦しい。
36	製造業	30～49人	支給する（支給した）	夏の賞与は定額、12月の冬のボーナスは、利益を考慮します。
37	製造業	30～49人	支給する（支給した）	未だ、業績が思わしくなく十分に支給できていない
38	製造業	30～49人	支給する（支給した）	今年度より7月から6月に支給月を変更した。年度を半分にして分かり易くする為である。夏を1ヶ月、冬を1.5ヶ月を最低保障として、残りは業績連動型とした。結果昨年度より支給額はかなり大きくなったが、業績好調ゆえの忙しさと製造現場の疲労感がかかり大きくなっている為、その頑張りに報いたいという想いで支給した。一生懸命捻出しているつもりだが、社員にはわかってもらえているのか？とても不安。喜んでもらえているといいなあと祈る思いです。
39	製造業	30～49人	支給する（支給した）	賞与の問題で同友会に対しての意見など微塵もない、、、まったくない、、、ない、、、
40	製造業	30～49人	支給する（支給した）	賞与は生活給になっているが、+アルファで業績連動させることにより、会社業績を意識する良い機会とした。
41	製造業	30～49人	支給する（支給した）	夏と冬の賞与は一定基準ですべての社員に支給し、期末の決算賞与で業績及び社員ごとの評価を反映させて支給している。
42	製造業	30～49人	支給する（支給した）	商品に使う部品の値上がり、納期が読めず支払いづらい状況。出来るだけ沢山支給したい気持ちはあるが、控えめになる。
43	製造業	50～99人	支給する（支給した）	賞与支給ができることが当たり前ではないことを労使ともに理解し、自らのレベル向上に努めなければならない。
44	製造業	50～99人	支給する（支給した）	夏冬ボーナスと4月決算期に手当（1カ月～1.5カ月）を支給することがある。社員に労働分配率55%を約束しているため、夏冬だけで55%に満たない時は、決算手当を支給することになる。
45	製造業	100人以上	支給する（支給した）	コロナ前の業績にはまだ戻りきらずコロナ禍から現在に至るまで、減額支給が続いています。
46	製造業	正社員なし		日本の場合賞与は賃金の後払いという性質があり、以前は一定の賞与も当てにして生計を立てている人がほとんどでした。しかし近年は、賞与を出せないという会社が増えて、従業員も賞与を当てにしなくなっている感じがします。それも寂しいことです。本来、賞与は賃金の後払いではなく、毎月の賃金で十分生活できその上で経営者の従業員への感謝として年2回賞与を払う、そうあるべきと私は考えています。しかしなかなかそうならない現実を変えていきたいですね。
47	流通業	1～4人	支給する（支給した）	まだ十分な賞与を支給できる売上ではないが、多少なりとも社員の安心とモチベーションを維持する上でも些少でも賞与支給は必要だと考える
48	流通業	1～4人	支給する（支給した）	人材の確保のため必要であると考える。
49	流通業	1～4人	支給する（支給した）	特需と在庫益があったため増額できたが、特需もなくなったので次回は不透明。
50	流通業	1～4人	支給しない	冬季・夏季賞与の支給はなく、決算賞与を創業年度から現在まで毎年9月に支給しています。
51	流通業	5～9人	支給する（支給した）	毎回毎回言いますが、賞与は生活費の大きなウェイトとなっていますので、出来る限り支払いたいと思います

Q15, 賞与に関する意見

NO	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
52	流通業	10～19人	支給しない	年二回の賞与支給そのものを昨年から廃止しました。業績に応じて支給していましたがいつも業績が良いとは限りません。社員さんはいつも賞与を貰えると勘違いもし、貰えないとなぜ貰えないのかと不満を募らせます。よって最低賞与額に相当する金額を毎月給与に加算しています。社員さんの中にはやっぱり年二回の賞与が良いという社員さんもいます。支給されるかどうか分からないよりは安定した年間報酬を月額給与で貰った方が良いという社員さんもいます。一長一短がありますが会社の支出も安定するのもメリットです。
53	流通業	10～19人	支給する（支給した）	なかなか厳しい状況だが雇用の確保と生活支援のため支給する
54	流通業	10～19人	支給する（支給した）	・もっと支給したいと思うが売上が上がらず支給することができない。 ・評価制度がないのと部門が色々あるなかで従業員支給バランスが分からない。
55	流通業	20～29人	検討中または未定	しっかりとした景気対策とられておらず、また2019年からの消費増税の影響が色濃く残っており、またガソリン税のトリガー条項は発動せず、コロナ後の景気は壊れたまま！重税感が経済に重くのしかかっているのは確かなのに、賃上げの議論だけが先に進むのは中小企業にとって重荷でしかない！円安は大手の輸出企業にだけに追い風となり中小企業にとっては逆風になるのが財務官僚は理解していない。
56	流通業	20～29人	支給する（支給した）	業績+生活給と考えています。出来るだけ多くは出した。
57	流通業	20～29人	支給する（支給した）	利益を出して、沢山払いたい
58	流通業	30～49人	支給する（支給した）	昨年より多く支給できるのは、社員さんの頑張りのお陰です。感謝
59	流通業	30～49人	支給する（支給した）	物価の上昇を考えると昨年よりも増額せざるを得ないが業績は伸び悩んでいる。今年後半に向けて経済が上向きになることを期待して少々ではあるが増額支給することにした
60	流通業	30～49人	支給する（支給した）	賞与の増額を目指していますが、利益が向上しないと原資が確保できません。一層の生産性向上が課題です。
61	流通業	50～99人	支給する（支給した）	今期は前期に比べ、売上高で約10%増で推移している結果を踏まえ冬賞与に比べて支給額は増やす方向。しかしながら原材料高等により仕入れ商品が軒並み値上げとなる状況では今期後半の業績は不透明。今から冬賞与の原資確保に頭を悩ませています・・・
62	流通業	100人以上	支給する（支給した）	賞与は業績に応じて支払うものであることを周知徹底している。ただし、業績の悪いときはそこを前提に生活給として上乗せをすることが多い。ベースアップをするとならざるに影響するので、賞与など一時金の上乗せでペア分を吸収することをねらうこともある。
63	流通業	100人以上	支給する（支給した）	賞与は業績給の認識ですが、ローン返済などにも計算されているため支給しなければいけないものと考えています。しかし、物価高騰で給与ベースを上げていかなければならないと考えており賞与金額を今後どう考えていくかを真剣に論じなければいけないと思っています。
64	流通業	100人以上	支給する（支給した）	大手100社の夏の賞与が前年比13%upしたと報道されたが、規模間や内需外需の違いで格差が更に広がっていると思う。
65	流通業	正社員なし		※否定的な意見ではないのですが、意見として、、、 →保険代理店として、賞与という考えが現状ありません。賞与は、何かしらの法律で決まっているものなのでしょうか？差し支えなければ、教えて下さい。
66	サービス業	1～4人	支給しない	支給したいが業績が良くないと支給できない。
67	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	冬は、0.8ヶ月 夏は、1.2ヶ月を毎年支給しています。
68	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	今年も賞与を社員さんに支給出来てよかったです。
69	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	物価上昇していてもっとたくさん上げたいが、余裕が無いパートさんにはもあげたいが、勤務時間が減ってしまうので支給できない。
70	サービス業	1～4人	支給しない	余裕がありません。
71	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	基準をどうすればいいか悩み中
72	サービス業	5～9人	支給しない	同友会の賞与金額が新聞発表されるが、全会員の80%くらいのデータにするべき。アンケートに答えている会員は、それなりに支払っている会社のみで、事実にはほど遠い金額となっている。
73	サービス業	5～9人	支給する（支給した）	障がい者の新卒とパートからの社員転換など昨年より人数が増えたが、賞与対象勤続期間がずれている事もあり全体の支給額に影響が出ている。（夏期賞与対象期間9月～2月末 冬期賞与対象期間3月～8月末）

Q15, 賞与に関する意見

NO	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
74	サービス業	5～9人	支給する（支給した）	昨年土は好業績で賞与も多めに出しましたが、それ以上に福利厚生に充てたことの方が社員には喜ばれたように感じました。
75	サービス業	10～19人	支給する（支給した）	パート、嘱託、アルバイトは寸志として少額ですが支給します。利益がでていても、借入金の返済などで資金がなく、銀行から借入して支給します。
76	サービス業	10～19人	支給する（支給した）	これからも継続して前年比増の支給が出来る環境を維持したいと思っています
77	サービス業	20～29人	支給する（支給した）	パートの場合、年間の年収制限のために、適切な賞与を支払いたくても支払えない。
78	サービス業	20～29人	支給する（支給した）	会社の考え方が色濃く反映されるのが賞与。わが社は平均賃金が低いため賞与固定で生活の安定を図るというのですが、同業他社では業績連動でダイナミックに変化するところが多い様です。これからは管理会計で納得を得ながら賞与を変動させるのが良いと思いますが、作らなければいけない仕組みが多く道半ばです。
79	サービス業	20～29人	支給しない	今後評価制度を作成し、賞与に反映していきたい
80	サービス業	30～49人	支給する（支給した）	賞与の金額を設定するのはいつも悩んでいます。評価制度を導入したとしても、不満不平の声もあります。評価制度をどんどん進化させるしかないと思います。
81	サービス業	50～99人	支給する（支給した）	厳しい業績状況の中支給するのは苦しい。
82	サービス業	正社員なし		パートの賞与についてもアンケートを取ってもらえると嬉しいです。
83	サービス業	正社員なし		前職は、旧東証1部上場の製造業に勤務していました。最後の10年間は、年間で6ヶ月分が出ました。現在も同程度出ています。せめて、年間で2ヶ月分の賞与の支給は確保したいと考えます。付加価値の高い仕事への転換が望まれます。
84	サービス業	正社員なし		パート5名に賞与、青色事業専従者にも賞与は支払います
85	サービス業	正社員なし		賞与は、期の会社の業績と本人の成果に基づき決定する。
86	サービス業	正社員なし		社会情勢が不安定なこの時期だからこそ、従業員に安心を与えることは会社として必要不可欠であることは間違いありません。安心の与え方は会社ごとに様々あるものの、賞与というものが（たとえ少額であっても）もたらす効果・安心感はいかなる会社でも間違いなくあるものだと考えます。